



○本人が大切にしてほしいこと

- **不安なことは、親、教員、医師、看護師等、話しやすい人に何でも相談する。**

長く入院すればするほど、学校に復学するときに不安があるものです。それは自然なことなので、不安なことや分からないことは、親や教員等、自分の周囲の人に相談しましょう。
- **自分の病気について、説明をどうするか親、医師、看護師等と相談して決める。**

学校に戻ると、病気のことについて聞かれることがあるかもしれないので、どう説明するかを事前に準備しておきましょう。どんな内容にするかは、自分だけで悩まず親や医師、看護師等と相談して決めるとよいです。

また、病気について話したくないと思ったら、無理に話す必要はありません。話したくないということを教員に伝えておけばよいです。
- **学校生活の中で、出来ることや配慮して欲しいことを教員、医師、看護師等と確認する。**

自分でできること、支援が必要なことを担任やかかわってもらう教員と確認しておきましょう。そして、どのように自分が学校生活を送るかを、イメージできるようにしておくことが大切です。

運動制限等がある場合は、できない活動時間をどう使うかについても教員と相談しておくとうよいです。
- **入院中に学習したことを原籍校の教員に自分で伝える。**

入院中の学習の状況を原籍校の教員に自分で伝えましょう。そして、原籍校の学習とどの程度違いがあるかを確認してもらい、できていない部分をどう補うかについて一緒に計画を立てるとよいです。
- **院内学級で学習した道具等の整理や原籍校へもっていく物の準備を自分でする。**

病院で使用した学習用具を整理して、原籍校へもっていく物や家に置いておく物に分け、通学に向けての準備を自分でするとよいです。